



2024

# 学校だより 本荘 Smile

令和6年度 第27号  
令和6年11月5日  
熊本市立本荘小学校  
校長 西川 英臣

10月の学校朝会は、「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という言葉についてお話してみました。



10月も「思いやりの心で笑顔の本荘小」



暑い暑い9月でしたが、何とか乗り切った感のある本荘小。ですが、季節はあっという間に秋の気配となった感のあった10月でしたが、校長先生もいろいろといそがしくしていたせいか、気づけば本日は11月5日(火)です。1カ月以上も学校だよりを出していなかったこととなります。誠にすみません。しかしながら、何もしていなかったわけではありませんので、ご安心ください。今まで書き溜めていた分をすぐに発行いたしますのでご期待といたしたところでしょうか。

今月は「心かかやけ月間」なのですが、11月分の学校朝会のお話の前に10月のお話をお知らせしておきます。

10月の朝会では、ことわざをもとにした話をしました。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」ということわざです。有名なのでほとんどの方がご存じだとは思いますが、ただ単に「稲が実ると稲穂が下がってくる」という意味ではないのです。

この文では、稲穂は人にたとえられています。「実るほど」とは人がだんだん地位を高めていくことになぞらえています。「頭を垂れる」とは、たとえ地位が上がっても本当に誠実な人は、人に頭を下げて、謙虚な態度をとるものであるということを伝えているのですね。

お話の中では、朝会でも何度も取り上げている「世界のホンダ」本田技研の創始者本田宗一郎さんを取り上げました。本田社長は「学問や技術があると言う事は立派なことには違いないが、それを人間のために有効に使うって初めて優れた人間だと言うことができるんだと思う。何よりも大切にするのは人を愛する心ではないだろうか？」という言葉を残されています。(裏面へ)

本田社長もすごく地位を高めた人であるにもかかわらず、人を大事にすることを社員に残しているのです。まさに、「頭を垂れる稲穂かな」なのです。

本荘小のこどもたちだけでなく、今の世の中、「マウントをとる」なんて言葉がよく聞かれますよね。常に自分が人より優位に立っていないと気が済まない人が増えているのかもしれないね。

そんな時代だからこそ、この話をこどもたちにしたのです。ご家庭でも「実るほど首を垂れる稲穂かな」の言葉の意味を話し合ってみられてはいかがでしょうか。(校長)

## 校長先生の虫眼鏡 「10月学校朝会のお話」

令和6年度 10月学校朝会 「実りの秋」

みなさん、おはようございます。ついに10月になりましたね。ところで、みなさんは5円玉を知っていますか？5円玉には、実は日本の産業、つまりお仕事が隠れています。まずギザギザは工業です。歯車のマークが入っています。次に漁業、海の水平線のデザインが入っています。そして、農業を表すお米が入っているんですね。今日はそのお米のお話です。

こんな言葉があります。実るほど頭を垂れる稲穂かな。聞いたことありますか？私たちが毎日食べている日本人の主食である米は、稲が育って実をつけたものです。5年生の社会科の米作りでその学習をします。5年生はもう勉強しましたよね。一般的には春に種を撒き、6月の頃に田植えをします。そしてこの10月ごろに実って、稲刈りをすることになるんですね。

このように多くの農家の人たちが1年間、時間と手間をかけてしっかり育て、実がしっかり詰まったお米として収穫するようになっているんです。この頃のお米はとても重くなって頭を垂らしたようになっています。このことから稲は実れば実ほど稲穂が頭を垂らしているように見える光景になるんです。この言葉はそれを伝えた言葉です。この稲穂の様子から、学問や人格が高い人ほど、相手に対して態度が謙虚になり穏やかになり、感謝の心を大切にするとという意味でも使われます。

さて、皆さんはホンダという会社を知っていますよね。自動車やオートバイを作っている会社です。学校朝会でも何回か紹介した本田宗一郎さんと言う人がこの会社をつくりました。そして世界の本田と言われる位素晴らしいオートバイや車を開発、製造しています。その本田宗一郎さんは、次のような言葉を残しています。学問や技術があると言う事は立派なことに違いないが、それを人間のために有効に使って初めて優れた人間だと言うことができるんだと思う。何よりも大切にするのは人を愛する心ではないだろうかという言葉です。皆さんはどう思いますか？

本田宗一郎社長は、長きにわたり多くの研究や努力を繰り返してきた結果、素晴らしい技術力を持ち、世界のみなが憧れ欲しくなるオートバイや自動車を作りました。しかしそこで満足しないで何のためにその技術を使うのか、人間として最も大切な事は何か皆さん自分に問いかけているんです。そして自分には経験もあり、お金も手に入れて有名にもなったと考えるんじゃなく、現在の自分が成功できたのは多くの人の支えや応援をもらってきたのだと言うことが大切で、この感謝の気持ちを忘れてはいけないと考えられたのです。

皆さんは毎日先生、友達と勉強、スポーツなど学校生活を楽しく元気に過ごしていますよね。そしてこの生活を支えてくれる多くの人たちがいると言うことに今日のお話で気づいたんじゃないかと思います。家族、地域の方々、先生を始め、学校で働く人たちなど、数えきれない人たちのお世話をもらって、楽しい学校生活、毎日の生活が過ごすことができているんです。この感謝の心を大切にしていって欲しいなあと思います。

皆さんはこれから長い人生の中で多くの人と出会うと思います。その人たちから多くのことを学んでください。そしてすべての人たちの小さな助けや親切愛情の上に、自分たちの生活があり、生きていくことができるということを忘れてはいけないなあと思います。そして思いやりの気持ちを持って仲間と一緒に一生懸命毎日楽しく過ごしていきましょう。10月も思いやりの心で笑顔の本荘小にしましょうね。これで校長先生のお話を終わります。